

3 視察結果

3-1 葉山川

視察日：平成29年9月22日(金)

野洲川と草津川に挟まれた丘陵地の山地に源を発し、流域面積23.27 km²、河川延長10.3 kmの天井川である。



県管理の葉山川の始点（源流）

琵琶湖カントリークラブゴルフ場内の池にポンプアップされた地下水が主な水源で、他に東側丘陵地から小さな流れがある。春には山菜が生え、色々な植物を観察することが出来る。以前、周辺でヘイケボタルが生息していた。

六地藏地区

丘陵部から平野部に出たところ、堰から灌漑用水路へ取水されている。コイやカワムツ等魚が生息し、夏季にはホタルも見られる。名神高速の工事に伴って、山側の佐世川の流れに付け替えられている。

旧葉山川跡は、現在道路になっているが、以前は天井川が形成されていた様で、旧東海道の和中散裏には土手が残されている。

上鉤の天井川に残る門扉の石柱

増水の際、石の溝に板をはめ、土嚢で補強したところ。

上流の小道には、堤防をコンクリートで嵩上げた際、手動の引戸型門扉が設置された。



川辺地区・天井川の平地化河川への工事現場

今年、天井川から平地化河川へ通水工事が始まっている。

川の流れの様子や削り取られた天井川の断面が見られる。



中の井川からのバイパス水路

中の井川放水路が菌（くさびら）神社下流で葉山川に合流、平成19年より通水が始まる。これに伴い葉山川下流の水量が多少増えるも、栗東駅周辺水路の増水が防げる。周辺に不法投棄ゴミが見られる。

葉山川メダカ池（ビオトープ）

天井川から平地河川化に伴い、メダカ池が作られ、草津塾が整備を依頼されている。毎月メダカ池周辺の美化活動を行い、水辺に親しめる場として環境整備を行っている。色々な生き物や植生が観察出来、地域の笠縫東小の葉山川学習の支援の場として使っている。夏季にはホタルも見られ、地域で「ほたるフェスタ」が行われている。河川には遊歩道が作られ、湖西の山々を背景に景観も素晴らしい。



葉山川河口（Biyセンター跡）

冬には色々な水鳥が見られ、バス釣りの好漁場でもあるらしい。隣接して平湖、柳平湖があり、真珠の養殖が行われている。護岸にはBiyセンターが開設され、葉山川の水の浄化実験やタナゴ類の生息実験、また夏季には子ども達を集めて環境教育等のイベントを行っていたが、現在は閉館され更地になっている。

平井・川原地区の天井川は、昔の条里制の区割りに沿って、かぎ型に流れ、川原地区から先は湿地帯の水路になっていた様であった。天井川跡は、道路になっており、最勝寺の椿の所で堤防が残っている。